



富士宮市 A01 富士山本宮浅間大社

源頼朝は、富士山麓で巻狩りを行い流鏑馬を奉納したと言われ、「富士山本宮浅間大社流鏑馬」の起源と言われています。北条義時は、社殿の修復を行いました。

富士宮市 A02 曾我八幡宮

曾我八幡宮の高台に曾我兄弟の供養塔があり、この辺りで、兄の十部祐成が仁田四郎忠常に討たれたと伝えられています。

富士宮市 A03 白糸の滝

幅150mの絶壁から水が湧き出している滝で、富士の巻狩りの際に立ち寄った源頼朝は「この上にかかる煙やおはすらん おだまき流す白糸の滝」と歌っています。

富士市 A04 横割八幡宮

富士川の合戦のとき源頼朝が弓矢と馬を奉納し平氏追討の戦勝祈願をして成就したとの伝承から、豊饒あたらかな神様を祀る神社として篤く信仰されています。

伊豆の国大河ドラマ館

大河ドラマ館は、市内ロケを中心としたメイキング映像の上映、ストーリーやキャスト紹介パネル等の展示を行います。大河ドラマの世界観を存分に体験できる施設となっています。

富士市 A05 曾我寺(鷹岳山福泉寺)

境内には曾我兄弟の墓があり、本堂には兄弟の木像や位牌が安置されています。正式には「福泉寺」といいますが、曾我兄弟がねむる寺として人々に「曾我寺」の名で呼ばれています。

沼津市 A06 大泉寺

源頼朝の異母弟、源義経(牛若丸)の美母の阿野全成(今若丸)の居館跡といわれる地に建つ寺です。境内には、全成とその息子時元のお墓があります。



三島市 A07 三嶋大社

源頼朝は、三嶋大社を崇敬し、「源氏再興の旗挙げの日」を三嶋大社の祭礼の日と定め、治承4年、伊豆国の目代山木兼隆を討ち取りました。

函南町 A08 高源寺

源頼朝が石橋山の戦いに挑む際の旗揚げの地で源氏再興の密議をしたと伝えられている。苔むした石段は非常に風情があります。敷地内には比企尼のものと思われる供養塔があります。



西伊豆町 A25 三四郎島・瀬浜

源氏再興の首、伊豆の三四郎と呼ばれる若武者が、中の島にきびしい平家の追討の目を逃れて隠れ住んでいたと伝えられています。

松崎町 A26 文覚山円通寺

その首、妙智山・円通寺と称して、親善菩薩(弘法大師の作と伝えられる)を祀ったことを起源とするお寺です。文覚上人の像があります。

熱海市 A20 伊豆山神社

源頼朝が北条政子と共に深い信仰を寄せ、伊豆山神社の加護のもとで平家を打倒し、鎌倉幕府を樹立して征夷大将軍となるに至る歴史の舞台となりました。



東伊豆町 A27 稲取八幡神社

平安時代末より源氏との縁が深く、境内の井戸は源頼朝が参拝の時に身を清めたと伝えられています。頼朝が守り本尊にしたと伝えられる仏像を奉祀しています。

河津町 A28 河津八幡神社

この地は河津三郎祐泰の館跡と言われています。河津の地を領した河津三郎祐泰とその子曾我十部祐成、五郎時致の霊を八幡神社に合祀しています。

熱海市 A21 十国峠(源実朝の歌碑)

峠の最高部には、三代将軍実朝が箱根・伊豆山の二権現と三嶋大社を参拝する「二所詣」の際に詠んだ歌の歌碑が建てられています。

熱海市 A22 走り湯

相模の海に臨む「走り湯」は、日本でも珍しい横穴式源泉で、日本三大古泉の一つです。明治以前は伊豆山神社の神湯として信仰されていました。

伊豆市 A17 修禪寺

源頼朝の弟、源範頼と2代将軍源頼朝が幽閉された寺とされ、ご本尊である本造大日如来坐像はその頃に仏師実隆により造られたもので国の重要文化財です。

下田市 A29 田牛八幡神社

寛政12年(1800年)に刻まれた、「遠国備忘」という源頼朝が遠国島に訪れていたことを記す銅板が保存されています。

南伊豆町 A30 鯉名湊(現:小稲港周辺)

源平の戦いの中で、南伊豆の地が唯一戦場となった「鯉名の合戦」の地で、伊東祐親が富士川の戦いで平家に加わり、平家軍に捕らえられた港と言われています。

伊東市 A23 伝伊東祐親の墓所

伊東家は、平安時代後期には、伊東市のみならず、河津町や伊豆市の一部を所領していました。源平合戦では、源頼朝からの打診を断り、平家への忠義をつくしたと言われています。

伊東市 A24 音無神社

源頼朝と伊東祐親の娘八重姫のロマンスの地です。愛し合う二人が密かに会っていた場所がこの神社のある「おとなしの森」だったと伝えられています。

伊豆市 A18 指月殿

桂川を挟んで修禪寺と対する鹿山の麓にある伊豆殿古の木造建築。修禪寺で暗殺された2代将軍源頼朝の冥福を祈って母政子が修禪寺に寄進したといわれる経堂です。

伊豆市 A19 宮湯

2代将軍源頼朝が入浴したという伝承のある名湯です。源頼朝は、この温泉に入浴中に腫れ上がったと言われています。

小山町 A09 足柄路

源頼朝が上洛時に往復したと伝えられていて、静岡県側と神奈川県側を結ぶ足柄路は、奈良・平安時代の東海道です。

伊豆市 A10 駒門風穴

鎌倉幕府二代将軍源頼朝による「富士の巻狩」の際、家来の仁田忠常に命じて探検させた風穴と言われています。風穴の中心には頼朝と名付けられた窟があります。

裾野市 A11 頼朝井戸の森

富士の巻狩りを富士山麓で行った際、頼朝が水を調べるために杯で飲んだ湧き水だと伝えられています。その水源地の森を「頼朝井戸の森」と呼ぶようになりました。

長泉町 A12 鮎壺の滝

源頼朝が富士の巻狩の際、亀鶴の美観を聞き、招こうとしたが、亀鶴は応ぜず滝に身を投げたと言われています。県の天然記念物に指定されています。

清水町 A13 対面石(八幡神社)

清水町の「八幡神社」の境内にあり、1180年の富士川合戦の折に、源頼朝と奥州から駆けつけた義経の兄弟が対面した時に腰かけたと言われる石です。

伊豆の国市 A14 北條寺

北条義時が創建した寺。大蛇に襲われ命を失った嫡子のために七堂伽藍を建立したと伝わっています。境内には北条義時夫婦の墓があります。

伊豆の国市 A16 燈ヶ島

平治の乱に敗れた源頼朝は、平清盛の母・池裡尼の命乞いによって伊豆の燈ヶ島に配流されました。周辺は公園として整備され、頼朝と政子の像「燈ヶ島の夫婦(ふたり)」が建てられました。

伊豆の国市 A15 願成就院

源頼朝の奥州藤原氏征討の戦勝を祈願して、北条時政が建立したお寺で、境内には北条時政のお墓があります。大御堂では、運慶作の国宝の仏像5体が拝観できます。

伊豆の国市 A15 願成就院

源頼朝の奥州藤原氏征討の戦勝を祈願して、北条時政が建立したお寺で、境内には北条時政のお墓があります。大御堂では、運慶作の国宝の仏像5体が拝観できます。

伊豆の国市 A15 願成就院

源頼朝の奥州藤原氏征討の戦勝を祈願して、北条時政が建立したお寺で、境内には北条時政のお墓があります。大御堂では、運慶作の国宝の仏像5体が拝観できます。